

「私の生活スタイル」

私は約13年前に妻に先立たれて、
長男は京都の大手で働き家庭をもっており
次男は東京で中堅会社に働き家庭をもっており
三男は一緒に働いているが実家をリフォームして別居している
という状況なので
自宅マンションで贅沢にも3LDKを一人で暮らしているが
実際は、昼間は土日も事務所に出ているので
殆ど寝に帰るだけの状況なのだ。

31年前に脱サラでコンサル会社を創業して
経営的には波乱万丈の繰り返しだったが、
お蔭様でなんとか今日に至っている。

ともかく、自宅でも出来る仕事だが、
社員を雇うという志で法人化して、まず賃貸で始めたが、
平成9年に社員を雇う際に、
賃貸では不味いと思い1DKを購入して事務所風にリフォームして
約10坪の事務所で仕事している。

当時は亡き妻も教員だったので
「私が元気なうちに」
と言ってくれて、
退職金を事務所づくりに投入できたのだった。

勿論、マンションの1DKなのでリフォームする必要がある
少しはローンを組んだが、これも完済しているので
今は管理費だけでローコストに経営できている。

そして、とりあえず自宅から事務所へ出る習慣が出来て
規則正しい生活のリズムが出来たのだ。

当初から土日も事務所に出て仕事をしていたが、
家族サービスで外食などを行なって家族の絆をつないでいた。

従って、サラリーマン時代と変わらずに
毎朝自宅を出るパターンになり
それが今も継続している。

最近では、朝5時頃にパン1枚を自宅で食べて薬を飲み
7時半頃に喫茶店でモーニングを頂きながら談笑して
8時半頃事務所に出勤というパターンが定着している。

去年7月に事業承継して相談役になっているので
気楽な毎日を過ごして、
このような記事や川柳などを詠んで
時間の充実を図っている。

メルマガも毎週土曜日に発信しており約7千通が届いており
約2割の方々が開封（読んでいる）していることが分かる
HTMLメールで発信して、その状況を把握している。

HTMLメールの当初は‘21年5月だったが、
約1万通に発信したが、この5年間で3千通が届かなくなった
という事で時の流れを実感している。

退職や廃業などのケースも多かった5年間と思っている。

「セラビー（C'est la vie）」はフランス語で
「これが人生さ」という意味だが、
特に、この5年間はコロナ禍もあって厳しい時代になり
零細企業は承継難で廃業するケースも多くなり
働く方も物価高で転職するケースも増えている
という状況なので
3割が減少しているが「これが人生さ」と思うようになっている。

HTMLメールは開封やクリックの状況を知ることが出来て
弟や大学時代の友人やビジネスで知り合った方々が
読んで頂いていることが分かるので
その方々をイメージしながら書き続けているのだ。

勿論、今のお客様も読んで頂いているので
記事の内容を参考にして頂ければ最幸と思って
書き甲斐を感じているのも事実だ。

私は「形は心を動かす」という信念を持っているが
記事を通して「心ある方々」は参考にして頂いて
経営に役立てていただいていると確信している。

もう、77才になり体力的に移動の自由は限られているので
痴呆症のリスク回避を含めて記事を書き続けたいと思っている。

通常の一斉送信時代から毎週発信して
通算 1027 号（9 月 19 日）になって優に 20 年以上になるが
これも私の才能の一つなので今後も続けて行きたいと思い
今日もシルバーウイークだが事務所を書斎代わりに利用して
一人で気楽に休日を過ごしているという状況だ。

これを今後も続けて元気に過ごして時間を有意義にしたい
と願っている。